

○事業所名	放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 9日		令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15家庭 17名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月9日		令和8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○ご利用児が楽しく過ごしている。また、通所を楽しみにしてくれている。 ○職員同士でご利用児について話し合いや、情報共有をしやすい。 ○広さがある為、伸び伸びと過ごせる。	○一人ひとりに合った支援を意識的に職員が心掛けている。 ○季節の行事を大切に話やレクレーションを取り入れている。	○支援方法が固定化しないよう、さらに職員同士の情報共有を密にしている。 ○行事に向け、さらに3段階ほどに分け理解を深める取り組みをおこなう。
2	○同法人内に就労所や生活介護等、成人までの事業所がある為、職業体験等も可能である。また、体験した様子等保護者にもお伝え出来る。	○子どもの対応や、反応を振り返り共有している。 ○マンツーマンで対応をしても、集団でおこなうレクレーションにも誘い、参加できるよう工夫をしている。週ごとにねらい、目的を決めてレクレーションを立案している。SSTを子どもたちが参加しやすい時間(人気のあるドッチビー前)に取り組んでいる。	○体験に行く前に事前学習をおこない、頑張る事など決めて体験に行く。さらに体験後の子どもの対応や反応を振り返り、職員間で共有する。また、保護者にもその事をフィードバックし伝えていく。
3	○建物は、のびのび活動できる広さである。	○活動によって部屋を区切ったり、状況に応じて場所を変えたりしながら工夫をしている。	○更に使い勝手がよくなるように机、椅子、道具などの配置、設置を変えていけばさらに良い結果が出てくるのではないかと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○人気のある職員が複数同時に求められることがある。	○職員一人ひとりが支援の質の向上を意識し、常に自己研鑽していく。	○チーム一丸となり支援にあたるよう、さらに職員同士で情報共有しあい、子どもたちが好きな事、興味がある事を支援に取り入れていく。
2	○評価表の結果に、保護者へイベントのお知らせが行き届いていないようで「わからない」という返答があった。	○年度初めに紙媒体でイベントのお知らせと、毎月のおたよりでお知らせしている。また、イベント前に参加不参加の希望を聞いているが、まだ、全員には行き届いていない。	○さらにお知らせが行き届くように、毎月の行事予定を玄関へ掲示し、お知らせをするようにしていく。
3	○長期休暇は児童発達支援事業と放課後等デイサービスの同時預かりで、放課後等デイサービスの戸外活動が大変である。特に夏場は過ごす場所もなかなかない状態である。	○夏場はアクエリアス、塩分チャージの摂取で熱中症対策をしながら過ごしている。また、涼しく過ごせる場所で過ごしたり、場所を移動したりしながら戸外で長時間過ごす事がないようにしている。	○涼しく過ごせる場所を検討し、安全な過ごし方等工夫をしていく。